

選手とファンが交流

和歌山 F B 田辺で感謝イベント

野球独立リーグの和歌山ファイティングバーズ（F B）は8日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場でファン感謝イベント「ファイサンキュー」を開いた。選手とファンがキャッチボールや写真撮影などをしながら触れ合った。

イベントは、障害者の就労を支援する西牟婁圏域自立支援協議会や熊野高校サポーターズリーダー部と協力、同野球場であったリーグ最終戦に合わせて開催した。約400人が来場した。

試合中に抽選会があったほか、サポーターズリーダー部が観客と一緒にダンスをした。試合終了後は、野球場の入り口に和歌山F Bの選手が並び、来場者を見送った。また、グラウンドではファンと一緒にキャッチボールを

関西の野球独立リーグ「ベースボール・ファースト・リーグ」に加入。3チームでリーグ戦をしてきた。同野球場であった最終戦では、兵庫アルイサンターズ（BS）に5-4で勝利した。リーグでは、兵庫BSが優勝、和歌山F Bは最下位となった。

試合後、今季での引退を表明した和歌山F Bの高橋直也キャプテン（25）は「応援に来てくれた人の力を借りて勝てた試合が多かった。これからも見守ってもらえたら」と話した。



和歌山ファイティングバーズの選手と写真を撮る来場者
＝田辺市上の山1丁目で